

今月のことば

遊びたい時
食べたい時
寝たい時
寝る
こわって
自由？

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師
小池秀章

こ
いけひであき

小学生の時、感想文の宿題が出ました。何の本の感想文を書いたかは思い出せないのですが、その感想文の内容について、担任の先生と次のようなやりとりをしたことを、今でも覚えています。私が感想文の中で、「自由に生きたい」と書いていたことについて、先生から、「君の言う自由とは何?」と質問されました。それに対して、「遊びたい時、遊んで、食べたい時、食べて、寝たい時、寝る。それが自由です。」と答えました。すると、先生は「本当にそれが自由か?」と重ねて質問してきました。私は一瞬つまりましたが、「はい、これが自由だと思います。」と答えました。その私の答えに対して、先生が何と言われたかは記憶にありませんが、このやりとりは、ずっと私の心中に残っています。

仏教に出遭った今、改めて考えてみると、私が考えていた「遊びたい時、遊び、食べたい時、食べ、寝たい時、寝る。」というのではなく自由ではありません。煩悩に縛られ煩悩に振り回されている、とても不自由な状態だと言わねばならないでしよう。その煩悩の束縛から離れる道を説くのが、仏教です。ただし、煩悩から離れられず、悩まれたのが親鸞聖人なのです。親鸞聖人は、煩悩から離れられない私たちが、煩悩があるまで煩悩を超えていく道を、明らかにしてくださいました。それは、「仏さまのはたらき(み教え)に導かれながら生きていく道」だと言つていいでしよう。

除夜の鐘を聞きながら、自らの煩悩を振り返つてみましょう。

合掌